

平成30（2018）年2月23日

佐世保市議会議長 市岡 博道 様

（請願者） 佐世保の水と石木ダムを考える市民の会  
I 女性会議させぼ  
石木川まもり隊  
新日本婦人の会佐世保支部  
水問題を考える市民の会

## 水道施設の早期更新・整備を求める請願

（請願の趣旨）

ダム貯水量と人口の関係や給水量と使用量の関係など市民目線で様々な問題を考える中で、浄水処理された水が配水の過程で10%余り漏水があることが問題になりました。佐世保市でも対策はとられていますが、古い配水管が多く、更新の工事がなかなか追いついていません。平成28年度までの5年間をみても漏水率は11%台と横ばいで推移しており、改善とはなっていません。

平成28年度「佐世保市まちづくり市民意識アンケート調査」でも「水道施設の更新・整備」を63.1%の市民が望んでいます。経済成長期に整備された多くのインフラが更新の時期を迎えている中で、優先して更新するべきと考える市民が多いのは渴水を経験し水の大切さを知っているからです。私たちが行っている勉強会でも「漏水を減らすためにお金を使ってほしい」という意見を多く聞きます。

昨年のキラっ都宣言で水道局長も、「本市の水道施設は老朽化が進んでおり、施設の更新需要のピークを迎えてくることに備え、経営基盤の安定化、水道料金への影響の最小化のため、費用負担の平準化を目的としたアセットマネジメントの構築を進めます。一方で、限りある水資源を有効活用するために、配水ブロック化や減圧対策等による漏水対策を継続的に進めます。水資源の有効活用のため、漏水への対処と将来の漏水を予防する対策を継続的な取り組みとして進めます。」として、平成29年度1日当たり漏水量8,025立方メートル・有効率91.2%の数値目標を設定されました。

漏水を減らし、限りある資源や財源を有効に活用して、より良い市民生活ができるよう請願します。

（請願事項）

佐世保市水道局は漏水率の半減を期限設定して、水道施設の早期更新・整備を行ってください。

（以上）